

数年前に経験したことであるが、幼稚園を卒業間近のころに、数人の子どもたちが、砂場で石を削って半日過していたことがあった。コンクリートのかけらを石板の上でこすると、石の粉ができる。長い時間かかって、皿の上にわずかばかりの粉がたまると、水を少し加えてこねて、他の子どもにも手渡す。それを葉だと云っている。少しでも泥がはいると惜しげもなく捨てて、また長い時間かかって石を削る。その熱心に石を削る姿に私は思わずひきつけられて、半日を過した。薬というのは、子どもにとっては、病気を治したり、長生きさせたりする魔力をもつものであろう。それは、固い石を、忍耐強く、しかも激しい熱気をもってこすりつける作業を長時間続けることによつて作り出される力でもある。

見方によつては、ただ、石を削って半日を過すとは、卒業間近の幼稚園児にはふさわしい活動ではないという批判があるだろう。二、三年間の教育のしめくくりの時期、間もなく小学校の入学の時期には、もっと別の活動がなければならぬという論者もある。けれども、私はそこにいて、子どもの活気のある息吹、ほんのわずかの石の粉を作り出した満足感を見て、これはまさにむすびにふさわしい活動であると思った。別の子どもはもっと違った形の遊びをするだろう。それぞれに、最も充実した遊びをすることができるのが幼稚園の三学期である。いそがしく追いまわされない、ゆっくりとした幼稚園生活がほしい。その中からはじめて、新しい次の生活が生まれるだろう。

(津守)

幼児の教育 第七十五卷第三号

三月号 © 定価二〇〇円

昭和五十一年二月二十五日印刷
昭和五十一年三月 一 日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

111 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

© 本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします